

平成29年度第2回西仙北地域協議会会議録

平成29年6月21日

西仙北地域協議会

平成 29 年度第 2 回西仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 平成 29 年度地域枠予算の要望について	3
(2) 大仙市雪対策総合推進委員会について	5
(3) 自由討論	6
■その他	10
■閉会	10
■署名	11

■日 時：平成29年6月21日（水）15時00分から

■会 場：大仙市役所西仙北庁舎3階会議室

■出席委員：15名

金啓一委員	斎藤幸雄委員	嵯峨幸恵委員	佐々木孝太郎委員
佐々木好美委員	佐藤主憲委員	信田徹委員	進藤巖委員
田口繁委員	俵谷武雄委員	豊巻一男委員	藤林笑委員
堀江公子委員	武藤義治委員	吉田範子委員	

■欠席委員：2名

池田裕毅委員 加藤真委員

■出席職員：5名

佐々木繁隆（西仙北支所長）	田村 一彦（農林建設課長）
小山田幸哉（西仙北中央公民館長）	新田 雅昭（地域活性化推進室副主幹）
佐藤 剛（地域活性化推進室主査）	

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
 - (1) 平成29年度地域枠予算の要望について
 - (2) 大仙市雪対策総合計画推進委員会について
 - (3) 自由討論
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

(15時00分 開会)

○小山田館長（以下「館長」と表記）

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ご案内しました時刻になりましたので、ただ今から平成29年度第2回西仙北地域協議会を開会いたします。はじめに、西仙北地域協議会佐々木会長よりごあいさつ申し上げます。

○佐々木西仙北地域協議会会長（以下「会長」と表記）

本日の第2回西仙北地域協議会の開催にあたり、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

報道によりますと東北地方も本日から梅雨入りということで、雨もほどほどに降ってほしいものだと思います。本日は、地域枠予算の審査が9件、大仙市雪対策総合計画推進委員会の委員の推薦、そして委員の皆さん一人ひとりから意見をいただく予定となっていますので忌憚の無いご意見をよろしくお願いします。

○館長

ありがとうございました。続きまして佐々木支所長よりごあいさつをお願いします。

○佐々木支所長（以下「支所長」と表記）

本日はお忙しいところ、「第2回西仙北地域協議会」にご出席いただきまして、ありがとうございました。

昨今ようやく暖かさが感じられるようになりましたが、今年の天候は不順で寒い日が続いたせいか、農作物の生育が心配されておるところであります。

また、昨年同様、熊のニュースが耐えない状況で、仙北市での死亡事故や一昨日は熊と遭遇し逃げ延びた美郷町の男性が4日目で自力下山というニュースもありました。当地域でも、熊の目撃情報が寄せられており、看板設置や広報の呼びかけを強化しておりますが、皆様からも注意喚起をお願い致します。

さて、本日の協議会でご審議いただく案件はすべて継続事業でⅡ型3件、Ⅲ型6件の9件であります。

また、大仙市雪対策総合計画推進委員会委員の推薦をお願いするほか、地域協議会として地域の活性化に何ができるか自由討論の時間も割いておりますので、よろしく願いいたします。

最後に、西仙北地域および大仙市の行事についてご案内させていただきます。西仙北高校の文化祭が今月24日に開かれます。25日は西仙北地域消防訓練大会、29日は市政懇談会、来月9日にはユメリア感謝祭にあわせてミニ綱引きが開催されます。そして、第1回全国500歳野球大会が大曲球場を主会場に開催されます。それぞれに足を運んでいただきますようお願い申し上げます。

本日はよろしく願いいたします。

ここで、昨日開催しました中央公民館改築説明会について若干報告させていただきます。地域協議会、自治連絡協議会、改築検討委員会、市議会議員の39名にご案内を差し上げ、20名の出席を得て説明会を行いました。これまで建設地が問題となっており、当局の提案として、現在地への建設を説明させていただきました。出席者全員のご同意とはなりませんでしたが、現在地に綱関連施設を含め、複合的に整備していくこととしましたので報告いたします。

○館長

ありがとうございました。このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、よろしくをお願いします。

○会長

それでは、会議を始めます。今日の出席委員は、17名中15名で、2分の1以上出席しておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次第の4、会議録署名委員を指名します。会議録署名委員には、金啓一委員、斎藤幸雄委員をお願いします。

それでは次第の5、議題（1）平成29年度地域予算の要望について審議します。今回は9件ございますが、全て継続事業でございます。前回の協議会でも説明の簡素化というご意見もいただきましたので、一覧をもとに一括して事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【事務局が配付資料に基づき説明】

類型Ⅱ型

①西仙北中学校地域活性化プロジェクト事業

事業の目的：空き家の活用という地域課題に向き合った取り組みと、市と中学校の取り組みの中で、地域住民も含めた地域の賑わいを創出することを目的とする。

申請団体：大仙市立西仙北中学校

申請額：200,000円

類型Ⅲ型

②大沢郷地区明るい地域づくり事業

事業の目的：地区住民の協働作業により、地区住民の連帯を深めるとともに、活力ある個性豊かな明るい地域づくりの推進を目的とする。

申請団体：大沢郷地区明るい地域づくり協議会

申請額：300,000円

類型Ⅲ型

③強首地区明るい地域づくり事業

事業の目的：地区住民の協働作業により、地区住民の連帯を深めるとともに、活力ある個性豊かな明るい地域づくりの推進を目的とする。

申請団体：強首地区明るい地域づくり協議会

申請額：300,000円

類型Ⅲ型

④土川地区コミュニティ活性化交流事業

事業の目的：土川地区では人口減少と高齢化が進み、小中学生との交流の機会を含め、地区の交流事業も少なくなってきたことから、交流事業を行い地区の連帯意識の高揚を図る。

申請団体：土川自治会長会

申請額：300,000円

類型Ⅲ型

⑤大沢郷地区地域活性化事業

事業の目的：地域で伝統行事を開催することで、地域の活性化と伝統文化の継承を図る。

申請団体：大沢郷地区集落会長会

申請額：300,000円

類型Ⅱ型

⑥雄物川クリーンアップ事業

事業の目的：8月15日のふるさと西仙まつりに合わせて、河川敷を地域住民が一体となって環境美化活動を行うことで「ふるさと西仙まつり」のスムーズな開催と、地域住民の連帯を深めることを目的とする。

申請団体：雄物川クリーンアップ実行委員会

申請額：33,432円

類型Ⅱ型

⑦刈和野の大綱引き体験型イベント事業

事業の目的：地域の伝統行事である「刈和野の大綱引き」を一時的な地域行事でなく、年間を通じた関連イベントを開催することで、伝統継承の推進と観光PRを目的とする。

申請団体：刈和野の大綱引き関連イベント実行委員会

申請額：140,000円

類型Ⅲ型

⑧にしせん納涼まつりステージイベント事業

事業の目的：当該事業の開催により地域住民に懇親の場を提供するとともに、地元商店の出店による地域の活性化を目的とする。

申請団体：ほじの会

申請額：100,000円

類型Ⅲ型

⑨新和会賑わい創出事業

事業の目的：当該事業を8月15日のふるさと西仙まつりと同日開催することにより、集客の増と地域の賑わいを創出することを目的とする。

申請団体：新和会

申請額：150,000円

○会長

ただいまの説明に関し、何かご意見、ご質問等ございませんか。意見が無いようですが、今回の要望9件全て承認してもよろしいですか。それでは一括して承認することとします。

次に、議題の(2)大仙市雪対策総合計画推進委員について事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【事務局が配付資料に基づき説明】

○会長

ただいま大仙市雪対策総合計画推進委員説明がありましたが、当協議会から1名推薦しなければならぬようです。自薦、他薦問いませんのでご意見ございますか。

○俵谷委員

事前にこの資料が配付されておりまして、誰が適任か自分なりに考えていましたが、様々な場所で活動されており、当協議会の副会長である池田さんを推薦したいと思います。今日は欠席されておりますが、事前に本人に意思の確認をしたところ、「私で良ければ」と言っていましたので、池田さんを推薦します。

○会長

ただいま俵谷委員から、池田委員を推薦したいというご意見がありましたがいかがでしょうか。異議が無いということで、当協議会からは、池田副会長を委員に推薦したいと思います。

次に、議題の(3)自由討論に移ります。前回の協議会で、協議会員として何ができるか協議したいという意見がありましたので、今回からそれを取り入れた形で自由討論を実施していきたいと思っております。どのような意見でも結構ですのでお一人ずつご意見をいただきたいと思っております。それでは、お席の順番をお願いします。

○吉田委員

今年から大佐沢公園桜ライトアップを実施していますが、大佐沢公園の桜もきれいですが、この庁舎の周りにある桜もとてもきれいです。この桜は私が小学校の時に植えられた歴史のある桜で、整備をすればもっときれいになると思います。

もう1つは、庁舎の近くにあるわんぱく公園ですが、遊具があつて小学校の子どもたちが遊んでいる姿をよく見かけます。ただ、木の枝が落ちていたり、草が伸びていることがありますので、その環境整備が必要だと思います。

○佐々木好美委員

環境整備を協議会でやるということですか。

○会長

必ずしも協議会委員でやるということではなくて、そういった諸課題を市の当局へ上申するということができますので、今は皆さんの色々な意見をいただきたいと思います。それでは次の方をお願いします。

○武藤委員

私から3つ程提案したいと思います。まず1つ目ですが、人口減少や少子高齢化が進んでいる中で、これからの将来を担う地域の子どもたちがどうすれば地域に残ってくれるかということを考えていかなければならないと思います。ですから、我々地域協議会委員と、地元の中学生、高校生たちと懇談する機会があればいいと思います。

2つ目ですが、刈和野駅の2階の有効活用です。以前は飲食店が入っていましたけれど、今後そこに入りたい方がいらっしゃれば、市や協議会でそれをバックアップできないかということを考えました。

3つ目ですが、高齢化が進む中でまちは高齢者が多く住んでいます。ですから、現在も色々やられているのですが、高齢者がもっと楽しめるような事業をやっていくことが必要かと思います。

○堀江委員

今年度から委員になって、まだ分からない部分も多いので、私からは意見というよりも、他の方の意見を聞きたいと思います。

○藤林委員

小学生と中学生が夏休みに入ってからすぐクリーンアップを行います。ですが、実際やるとすでにクリーンアップが行われていて、ゴミがほとんど無い状態です。ですから、クリーンアップをやる日が事前に分かれば、その情報を小中学校と共有して、時期をずらせばもっときれいな状態が保てるのではないかと思います。

○会長

関係団体と連携しなければせっかくの活動が無駄になってしまうと思います。その調整というものは必要不可欠だと思います。次の方をお願いします。

○豊巻委員

実は私は大仙市消防団の一員として活動しておりますが、西仙北地域に限らず大仙市全体の消防団員が減少してきております。消防団員がいなければ地域の安全安心が守れません。今は、広域消防もありますけれど、地域の事情をよく知っている地元の消防団員がいなければ有事の際に大変苦勞することになります。水害の際は水防団となって活動したり、火事の際は残務処理なども行います。私たちも地元の自治会長さんをお願いするなどして団員の確保に努めておりますが、なかなか手がないというのが現状です。昨年度大仙市消防団は大きな再編を行ったところでございます。当西仙北支団も8分団から4分団に再編しました。刈和野、土川、大沢郷、強首の各地区にそれぞれ1分団ずつしかなくなりました。委員の皆さんも各地区から来ていらっしゃると思いますので、消防団員の確保に向けたご意見等をいただけたらと思います。

先日協和地域で消防訓練大会が行われましてそちらに出席してまいりました。市長も大会にいらっしゃってまして、そのとき観客が少なくなったという話がありました。ですから、小学校や、中学校とタイアップして消防の大会を見せて将来自分も団員になりたいという子を一人でも確保することが重要だと思いました。

○俵谷委員

私は少子高齢化が進み色々な事業ができなくなっている現状があります。刈和野の場合子ども会も会員が少なくなって、何かをやるにしても非常に苦勞しています。老人クラブもリーダーのなり手がなくて解散するところもあるようです。地区単独でやるということはこれからは厳しくなってくると思いますので、ボランティア団体やNPO団体を組織しまして、従来の活動をサポートするような体制づくりが必要だと思います。

また、伝統文化の継承も難しくなっています。例えば椒沢の番楽も継承者がいなくて、それを後世に伝えるということは難しくなっています。そこにそのような団体が間に入ってそのような活動もサポートできたら良いと思います。

○田口委員

農地水事業についてです。国からの交付金をいただきまして、農家、非農家が参加して、休閑地に花を植えたり等の環境整備を行っております。先程俵谷委員おっしゃってございましたけれど、なかなか参加者がいなくて事業の実施が困難になってきている集落も多くなってきているようです。今後ますます増えていくと思いますので、そのような活動を支援していただけたら良いのではと思います。

○進藤委員

西仙北地域には、ふるさと西仙まつり、刈和野の大綱引き等の行事が行われていますが、前の地域協議会でもお話をしたことがあります。お客さんに場所が分からないということで道を聞かれます。ですから案内看板等の表示をもっと増やして、地域に来る方に不便をかけたような取り組みが必要ではないかと思えます。

また、自由討論の進め方についてですけれど、私は農地水の研修等で他の会議にも参加しておりますが、言葉に出して話すということが難しい方もいらっしゃいます。ですから、意見を紙に書いてやるグループワークみたいなやり方でも良いのではないかと思えます。

○信田委員

新しいことではなく、昨年度西仙北中学校でリノベーションした HUB スペースがありますが、そこをもう少し地域の方に活用していただけるような取り組みが必要ではないかと思えます。私のイメージとしては、あそこにお茶やちょっとしたお菓子を置いて地域のお年寄りの憩いの場になるのではないかと思っておりました。今は色々な展示や中学校生徒の活動の場ということで使用しておりますけど、我々でもっと活用を促せるような取り組みができればと思えます。

○佐藤委員

地域枠予算の使われ方についてです。昨年から地域協議会委員になりましたけれど、この地域枠予算のほとんどがイベント等に使われているというのが現状です。この地域枠予算は合併当時当時の市長が、支所にはなかなか予算がつかないということで、こちらを活用するというのが始まりだったように記憶しております。ちょっとした側溝改良だったり、各種修繕だったり支所長の権限でできるこのような予算でした。今市に要望してもなかなかすぐにはできないことがありますので、地域枠本来の使われ方をもう少ししていただけたらと思えます。

もう1つは地域枠予算の申請についてです。申請については、書くことが多くて難しいとおっしゃる方もいます。ですから申請については、もう少し簡略化した形で申請できるような体制をとっていただければと思えます。

○佐々木好美委員

従来の地域協議会は、地域枠予算の審査に特化していたということで、このような話し合いの場ができたということは非常に良いことだと思います。審査も確かに大事ですが、我々委員が地域に入って行って、地域の現状を知るといことも大事ではないかと思えます。

地域では、様々なイベントが行われていますが、地域を活性化するには、やはりイベントの開催というものが非常に有効だと思います。ですから、そのようなイベントに我々が委員として実際に参加してみるということが必要ではないかと思えます。全員が参加するというのは無理なので、現在住んでいる地区で行われているイベントに参加して状況を把握することが大事だと思います。また、イベントに参加するのはいつも同じ人ばかりという現状もあ

りますので、参加してない方に参加を促すような取り組みを併せて行う必要があると思います。

また、イベントに関連して社会福祉協議会でも様々なイベントが行われています。福祉的色彩が強いのですが、協議会と連携して様々な取り組みができるのではないかと思います。会長も私も福祉のまちづくりの委員でもあるので、今後少し考えていただきたいと思います。

先程の地域枠の申請のことについて話がありましたが、まちづくり課で出されているガイドラインをあらかじめ自治会長等に配布したらどうかと思います。また、申請についてももっと簡単にしていれば、もっと市民に活用してもらえるのではないかと思います。

○嗟峨委員

私は小学校のPTAの代表で協議会の方に参加させていただいておりますけれど、地域の方々に地域協議会の存在があまり知られていないと思います。だいせん日和にももっと地域協議会の活動が分かるように載せていただければと思います。そして、地域住民の意見をもっと協議会で反映できれば、この協議会も活性化したいと思います。

○斎藤委員

大沢郷集落の代表として来ていますが、集落の要望について市に提出しておりますが、その中に県や国への要望事項も含まれています。県や国への要望は、市への要望のやり方と違う面もありますので、県や国への要望についても、もっと市が協力していただければよろしいかと思います。

また、先程イベントについて色々意見が出されましたが、大沢郷地区でも様々なイベントを行っております。毎回やるたびに人集めが大変だということで苦労しています。ですからその人集めの方法を考えていければ良いと思います。

○金委員

体育協会で行っている様々な事業がありますが、先程お話しがありましたけど、参加者が年々少なくなってきているというのが現状です。例えば10年くらい前にグラウンドゴルフ大会を開催したところ、刈和野地区だけで140名の参加者がありました。去年は45名しかいませんでした。せっかくやっている事業ですので、声かけ等人の参加を促す取り組みが必要ではないかと思います。また、以前西仙北地域全体の運動会も実施していました。当時は1位が家電等賞品も豪華で、参加者もたくさんいました。ですから、地域全体が参加できる当時のような事業をもう一度やれば良いと思っています。

○会長

私も委員として意見を述べさせていただきます。先程佐々木委員もおっしゃっていましたが、社会福祉協議会の連携というのは必要だと思います。例えば、社会福祉協議会を出しているゴミカレンダーがあるのですが、それは歳末助け合いの募金の一部を捻出して作成しています。とても評判が良く、一人暮らしの高齢者世帯に配布しています。今年は700部

程作成しました。他の方達からも欲しいという要望がたくさんあります。市から配布されるゴミカレンダーもあるわけですが、それは見づらいという声がありました。ですから、その辺を市とタイアップしてゴミカレンダーを作成できれば、地域の方にも喜ばれるのではないかと思います。

また、地域の活性化に繋がるか分かりませんが、地区ごとまた集落ごとに意外と知られていない名物等たくさんあると思います。それをマップにして地域の方に地域を知ってもらう取り組みを行えば地域の中でも交流が生まれるのではないかと思います。

委員の皆さん一人ひとりからたくさん意見を出していただきました。この意見をこの場で集約するとなると、大変ですのでこれを事務局でまとめていただいて次回できることを精査していく形をとっていきたいと思いますがいかがですか。

○佐々木好美委員

この場でこの意見を精査するというのは難しいと思いますので、事務局である程度分類してもらって、精査しやすい形にしていただければ良いと思います。

○事務局地域活性化推進室新田

わかりました。それではこちらの方で、分類させていただいて、皆さんが再度検討しやすい資料を作成したいと思いますのでよろしくお願いします。今回いただいたご意見は市としても大変参考になるものが多かったので、今後の取り組みに反映できたらと思います。

○支所長

今日は参加された委員の皆さんから大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。本日も欠席されている委員の方がいらっしゃいますし、次回の協議会までまだ時間がありますので、もし他にご意見があれば地域活性化推進室までお届けいただければいいと思います。

○会長

本日は委員の皆さん全員から意見をいただいたということで、非常に充実した協議会だったと思います。今後もこのような形で進めていきたいと思いますので、今後とも皆さんのご協力をお願いします。

○館長

これももちまして第2回西仙北地域協議会を終了します。長時間にわたりお疲れ様でした。

(17時00分 閉会)

西仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

金 啓一

斎藤 幸雄
